

アンドリュー・エリクソン (Andrew S. Erickson)

米海軍大学戦略学教授 (Professor of Strategy, Naval War College)

同大中国海事研究所創設人メンバー (Core Founding Member of China Maritime Studies Institute, NWC)

(1) 略歴

- 2016年～現在 米海軍大学戦略学教授
- 2009年～2016年 米海軍大学戦略学准教授
- 2010～2011年 プリンストン・ハーバード・チャイナ
ワールドプログラム (CWP) 研究員
- 2008年～現在 ハーバードフェアバンクセンター研究員
- 2006年 米海軍大学に中国海事研究所を創設
- 2003年～2006年 プリンストン大学博士号取得 (Ph. D.)
- 2001年～2003年 プリンストン大学修士号取得 (国際関係)
- 1997年～2001年 アムハースト・カレッジ学士号取得
(政治、歴史) magna cum laude

(2) 最近の寄稿・インタビュー

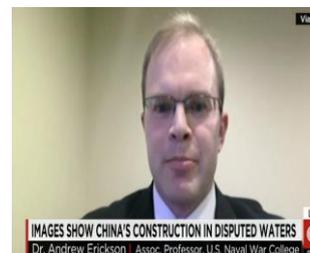
[China's Maritime Militia What It Is and How to Deal With It](#)

June 23, 2016 Foreign Affairs

[Preserving a Rule-Based Order in the South China Sea](#)

July 12, 2016 Interview by Council on Foreign Relations

[China's Maritime Militia: A Conversation with Andrew Erickson](#) By Bonnie Glaser, Director, China Power Project, CSIS



(3) 横顔

○エリクソン教授は1,000以上に上る中国の一次資料を高度な専門性と知見に基づいて分析する傑出した研究で知られ、その分析は米国要路、米国内外で常に高い注目を集める。

○フォーリンアフェアーズが掲載したエリクソン教授の論文 [The Danger of China's "New Type of Great-Power Relations" Slogan](#) は米要路のアジア政策決定層に広く読まれ、ナショナルインタレストに寄稿した [China Reveals Two 'Carrier-Killer' Missiles](#) はオンライン上に掲載後24時間以内に6万5000回閲覧された。

○最近是中国の海上民兵 ([Maritime Militia](#)) の活動実態、指揮系統、任務、情報化等について仔細に分析した研究が注目を集める。最新の研究動静についてはエリクソン教授自身のウェブサイト <http://www.andrewerickson.com/> に詳しい。

○現在、米外交評議会会員。キャリア初期にアメリカ合衆国行政管理予算局、米上院議会、在中国米国大使館、在香港米国総領事館等で勤務。

○エリクソン教授は、米海軍 (USN) と海上自衛隊 (JMSDF)、特に、米海軍大学 (NWC) と海上自衛隊幹部学校 (MCSC) をはじめとした様々な研究協力の深化に重要な役割を果たしている。

(4) 訪日歴 京都アソシエイツプログラムで同志社大学留学、日本人家庭にホームステイ経験あり。